

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2116

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催 方法	■対面（ 練習船豊潮丸 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
2. 正式科目名 副題	飢餓・貧困解決を目指したグローバル 洋上演習		配当年次	2、3年	
			受入学年	2、3年	
学問分野	番号	33	名 称	水産学	
3. 担当教員名	小池 一彦				
4. 単位数	1 単位	5. 開講学期	後期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2024年 10月 10日（木）～ 2024年 10月 11日（金）				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要とする科目」（SDGsに関する基礎知識、英語会話能力） ・「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	3 人	9. 選考方法	上級生から受入れ		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>【科目内容】 広島大学生物生産学部附属練習船・豊潮丸は、令和4年度より第三期教育関係共同利用拠点に認定され、学外に向け共同利用の機会を提供しています。新たに提供する本科目では、タイ・インドネシア等のアセアンの中でも特に水産依存度が高い国々から来日した留学生と共に一泊二日の航海を体験します。特にSDGs 達成に貢献する水産人材を育成することを念頭に置き、瀬戸内海の水産業の見学、漁業者との対談、実際の海洋観測を通じた問題発見から、世界の貧困人口が集中する沿岸域の持続的発展に、水産業がどのように貢献できるか学生同士で議論します。海に根ざした文化を理解するために、重要な文化財であり、沿岸漁業が盛んな大崎下島・御手洗地区への見学も含まれます。 ※全ての内容は英語にて実施します。</p> <p>【授業計画】</p> <p>10/10(木) 午前：広島県呉市の練習船基地に集合、出港、船内ガイダンス 午後：安芸灘で漁業現場の見学・漁業者インタビュー、 重要伝統的建造物群保存地区である大崎下島の御手洗地区を見学。</p> <p>10/11(金) 午前：広島湾奥から湾口にかけて海洋観測実習；海底の状態の観察、食物連鎖の 起点となる植物プランクトン生産量の測定 午後：各国の沿岸域における飢餓・貧困の現状紹介（事前準備のうえ学生同士の プレゼンテーションを実施）、それを解決する方策の立案（学生プレゼン テーション）</p>				
11. 試験・評価方法	受講態度 50 点、計 2 回の船内プレゼンテーション 50 点				
12. 別途負担費用	約 3,430 円（初日昼食～2 日目昼食まで毎食分、シーツ洗濯代など） ※ 現地で徴収 ※ 乗下船地への旅費は自己負担 ※ 開催 10 日前以降の履修の辞退の場合、食費該当分は支払いが必要				

13. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前に学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）に加入しておいてください。 ● 豊潮丸運営委員会が定める感染症拡大防止対策に応じ、乗船最大人数、事前健康チェックの内容等が異なります。実習1ヶ月前を目処に、対策レベルに応じた行動要件を通知します。 ● 集合時間（別途通知）を厳守してください。欠員があっても定刻に出港します。 ● 集合・解散場所：広島大学生物生産学部 附属練習船基地 〒737-0029 広島県呉市宝町7-4（電話 0823-23-4853） JR 広島駅から JR 呉駅約 35 分（快速）、JR 呉駅より徒歩約 15 分 練習船基地 位置図 https://toyoshio.hiroshima-u.ac.jp/kiti/kitimap.html ● 各自持参するもの：医療保険証、運動靴、船酔止薬、作業着（長袖、長ズボン、帽子）、ノート PC（必須）、筆記用具、洗面具、タオル、入浴用品、身の回り品等 ※ショートパンツ、ランニングシャツ、サンダル等では作業できません。 ※長靴、雨具は貸与します。 ※タオル、入浴用品は船内に備えていません。各自持参して下さい。 ● やむなく辞退する場合は、速やかに所属大学担当部署及び広島大学生物学系総括支援室に申し出て下さい。 ● 問い合わせ先：広島大学生物学系支援室（学士課程担当） 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail：sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ● 履修希望学生に対する連絡：履修決定者には担当者より履修願に記載されたメールアドレス宛に電子メールで連絡があります。履修希望届を提出した学生は、担当者のメールアドレス（担当；小池 kazkoike@hiroshima-u.ac.jp、小原 oharashizu@hiroshima-u.ac.jp）からの電子メールを受信できるように設定し、電子メールを定期的に確認してください。また、メールアドレスを変更した場合は、速やかに所属大学担当部署と広島大学生物学系総括支援室に必ず連絡してください。 <p>* 全ての内容は英語にて行います。感染症の拡大状況や天候等の理由により、大幅な計画変更あるいは実習中止となる可能性があります。</p>						
14. 社会人受講	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">科目等履修生（単位付与）として受け入れ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">可</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">否</td> </tr> <tr> <td>聴講生（単位認定不要）として受け入れ</td> <td style="text-align: center;">可</td> <td style="text-align: center;">否</td> </tr> </table>	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否
科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否					
聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否					